

ガザ攻撃の即時中止を！

ガザに人道危機が迫っています。イスラエルは、ガザ周辺の軍部隊にガザ侵攻の準備命令を出したと報じられています。すでに死者は5100人以上にもなり、イスラエルによるガザへの地上戦が始まればその犠牲はさらに広がることになります。何としても、イスラエルのガザ侵攻を止めるよう声をあげましょう！

2007年のイスラエルによる封鎖依頼、困難な状況を強いられているガザでは、さらに電気や食料、水や衣料品などインフラを断たれ、国境も封鎖されている中で、空爆も繰り返されており、まさに地獄の様相にあります。

民間人を犠牲にするイスラエルの空爆や地上戦の開始は、国際人道法違反の「集団懲罰」であり、戦争犯罪そのものです。

国連安保理での停戦決議案も、アメリカの拒否権で否決されました。ハマスの攻撃の根底には、ガザが封鎖状態におかれ、「自治区」ヨルダン川西岸でも大半がすでにイスラエルに実効支配され、ユダヤ人入植者によって日常的にパレスチナ住民の生命や財産が脅かされている現実があります。イスラエルが、75年間行ってきた国際法違反の戦争犯罪について、日本を含むに欧米の政府は放置したことに原因があります。

この問題の解決は、イスラエルによる占領と封鎖をやめさせることにしかありません。日本政府には、あらゆる手段を用いて、各国が調停に乗り出すよう最大限の外交努力をするよう声を届けましょう！

イスラエルによる無差別空爆と地上戦を断念させ、交渉による解決の道を選ぶよう声をあげましょう。

抗議の声を届けてください

◆<イスラエル大使館>

メール information@tokyo.mfa.gov.il

TEL 03-3264-0911 (代表)

FAX 03-3264-0791

◆<外務省>

メール mail-han@mofa.go.jp

フォーム

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/comment/index.html>

◆<国会事務所>

岸田文雄首相 FAX 03-3591-3118

上川陽子外相 FAX 03-3508-3290

呼びかけ:不戦へのネットワーク

連絡先:名古屋市中村区那古野1の44の17 嶋田ビル2F

電話:050-3593-5130

Eメール:husen@jca.apc.org



アラブ人の一部 高まる反日感情

イスラエル軍とパレスチナ自治政府のイスラム組織ハマスの衝突、パレスチナ支持のアラブ人の間で、日本批判の声が相次いでいる。16日にあった国連安保理理事会で、ロシアの提出した停戦要請決議案に日本が賛同したことが引き金となって、一部では日本製品のボイコットを訴える声も上がっている。日本は米国、英国らとともに、アラブによる停戦要請決議案に反対を投じたのは「決議案がイスラエルを攻撃したハマス名指しで追及していない」が理由だが、「停戦に反対しと断言され、反発を招いてい

殺すことに賛成した」。16日に決議案が否決された以降、交流サイト(SNS)にはこうした投稿が散見される。中には「恥を知れ」といった強い意見も。「日本はこれまでガザに多数の支援をしている」と擁護する投稿には、「日本の助けなんて必要ない」と反発も相次ぐ。米国前哨と非難する声も強く、投擲物を引き合いに「日本は広輪と長崎を忘れたのか」と訴える投稿もある。その後、安保理では18日、戦闘の一時停止を求める決議案が提出された。日本は賛成したものの、米国は拒否権を行使し、決議案は否決となった。ガザ住民の50代男性は20日、電話取材に「とにかく今は停戦が先ではないのか。このまま(停戦が実現しないまま)いつか

2023.10.21 中日新聞記事